



平成 28 年 10 月 20 日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社  
代表者 代表取締役社長 手島 達也  
(コード番号 5707)  
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹  
(TEL 03-6212-1716)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表した平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想を、以下のとおり修正することとしたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	1,400	1,150	700	5.15
今回修正予想(B)	47,000	2,700	2,600	1,900	13.99
増減額(B-A)	—	1,300	1,450	1,200	
増減率(%)	—	92.9	126.1	171.4	
(参考) 前第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四 半期)	60,089	△276	△754	△1,508	△11.11

2. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,300	1,100	1,100	750	5.52
今回修正予想(B)	42,000	1,800	2,000	1,300	9.57
増減額(B-A)	1,700	700	900	550	
増減率(%)	4.2	63.6	81.8	73.3	
(参考) 前第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四 半期)	51,525	1,363	1,949	1,375	10.13

3. 修正の理由

(個別業績)

売上高は、為替（米ドル/日本円）は前回予想の前提よりも円高に推移したことから減収要因となりましたが、金属相場（特に亜鉛）が前回予想の前提を上回り、結果として前回公表値を上回る見込みです。

利益につきましては、主に金属相場の上昇により相当額の在庫評価益（原価差額、低価法等の相場影響）が実現し、製錬セグメントの利益（営業利益）が 6 億円強改善すると見込まれるため、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回公表値に比して増益となる見込みです。

(連結業績)

連結子会社である豪州の鉱山会社 CBH Resources Ltd.（CBH 社）は、操業が好調だったことに加えて金属相場の上昇効果もあり、CBH 社を擁する資源事業は約 7 億円の増益（営業利益）となり、赤字予想から黒字への転換が見込まれます。これに個別での増益が加わり、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回公表値に比して増益となる見込みです。

なお、平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）業績予想及び配当予想につきましては、当社が金属相場や為替相場等の市況に大きく影響を受ける業態であり、下期の市況の動きには不確定要素も多いことから、前回発表予想を据え置くことといたします。今後の業績動向等を踏まえ修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

4. 説明資料

業績予想修正説明資料を別途当社ウェブサイトで開示しておりますのでご参照ください。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上